

第17回 アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会・ 代表者会議の開催

山根義久[†] (日本獣医師会会長)



平成25年1月5日(土)～7日(月)、第17回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会が台北市・圓山大飯店 (グランドホテル) にて開催された。あわせて、1月5日には各国の代表者会議が開催され、アフガニスタン、オーストラリア、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、ネパール、シンガポール、台湾及びタイの12カ国から代表者が出席し、日本からは、私と古賀俊伸事務局長が出席した。

1月4日の午前、羽田を出発し、午後2時に大会会場のグランドホテルに到着した。会場となったホテルは、日本統治時代剣潭山に建立されていた台湾神宮の跡地を利用して建設されたもので、龍などの彫刻が多数施された外観は中国建築様式を前面に出したもので、台北市のランドマークの一つとなっている。

到着後、早速登録手続きを行い、まず、北海道大学大学院 喜田 宏教授の鳥インフルエンザに関する基調講演を聴講した。その後午後4時から開会式が開催され、FAVA会長ジョンソン・チャン氏 (台湾) の他、中華民国行政農業委員会副委員長、中華民国外交部大使、台湾獣医師会会長、世界獣医学大会 (WVC) 会長ケシュリッド氏 (チュニジア) から挨拶が行われた。さらに、昨年春に東京で開催された代表者会議において実施が決定されたジェームス・マイケル・G・チェン博士記念講演がフィリピン獣医師会のトレス博士によって行われた。チェン博士は、病身でありながら前回のセブ島 (フィリピン) における第16回FAVA大会の組織委員長を務めて大会を大成功に導き、大会が終了して2週間後に逝去された。同博士の功績を称え、本記念講演が企画されたことがFAVA事務局長アチャリヤ氏 (タイ) によって紹介された。

その後、会場を近くのレストランに移して、歓迎レセプションが開催され、参加者は再会を喜び、親交を深めた。

翌1月5日には、午前9時からFAVA代表者会議が開催された。会議においては、FAVA会長チャン氏、WVC会長ケシュリッド氏から挨拶が行われ、議事に入った。

議事においては、まず、前回の東京における代表者会議の議事録が確認、採択され、続いて各国からの情勢報告が行われた。日本からは、私が東日本大震災に対する各国からの支援に謝意を述べるとともに、昨年3月に東京で開催した代表者会議の成功に感謝し、その際に各国代表者が福島動物救護施設を訪問していただいたことは非常に有意義であった旨報告した。

さらに、参加各国から最近の情勢報告がなされた。今回の代表者会議には、東京の代表者会議で参加が承認されたアフガニスタンの他、ネパールからも始めて代表者が参加し、賑やかなものになった。

その後、チャン会長及びアチャリヤ事務局長からの会務報告が行われた後、会計担当者のメンデ氏 (インドネシア) から監査報告が行われて午前中の議事を終了した。

午後に入り、前回の代表者会議で審議され決定されたFAVA Strategy (今後の活動方針) が確認され、次いでシンガポールで開催される次回大会 (第18回大会) の準備について報告され、あわせて今後のFAVAの運営についてKenesasia社 (民間コンサルタント) から提案があった。また、イギリス連邦獣医師会連合 (Commonwealth Veterinary Associations) の活動報告が行われた。

その後休息を挟んで、世界牛病学会、世界動物愛護協会から活動紹介が行われた。

今後のFAVA大会及び代表者会議の開催地については、以下のとおり決定された。

2014 (大会・代表者会議) : シンガポール

2015 (代表者会議) : モンゴル

2016 (大会・代表者会議) : ベトナム

・参考 : 世界獣医学大会の開催予定

2013 (9月) : プラハ・チェコ共和国

2015 : トルコ

[†] 連絡責任者 : 山根義久 (日本獣医師会)

〒107-0062 港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階

☎03-3475-1601 FAX 03-3475-1604

E-mail : info@nichiju.lin.gr.jp



アジア獣医師会連合代表者会議集合写真
前列中央がジョンソン・チャンFAVA会長、2列目右から3番目が著者。

2017：仁川・韓国

会議終了後、本大会最大のレセプションであるガラ・ディナーが開催された。

翌1月6日は大会に出席し、私からは“History of the cardiovascular surgery for the small animal”と題する招待講演を行った。今回の大会においては、喜田教授の基調講演、私、札幌医科大学 小林宣道教授、日本動物病院福祉協会 石田卓夫会長及び北京農業大学 太田亟慈客員教授の招待講演が行われた他、合計63名が日本から一般講演、ポスターセッション等の演題が提出された。

今回の大会においては、1月5日に開催されたレセプションのガラ・ディナーに 呉敦義 中華民国副総統が出席された。

席された他、1月6日には中華民国外交部長（日本の外務大臣に当たる）招待レセプションも開催された。外交部長の挨拶では、「中国本土との関係もあり、台湾としては民間レベルの国際交流に十分な支援を行っていきたいと考えており、その意味においてもジョンソン・チャン氏がFAVA会長、WVC副会長に就任されて、国際交流に力を入れていることを大変高く評価している。」旨述べられた。

前回、平成19年にFAVA代表者会議が当地台北で開催された際のレセプションには、李登輝（日本読みでは、リー・テン・フエ）元総統が出席しておられたことが思い出され、台湾の外交関係を含む国情が察せられるとともに、獣医学術交流も政治力学と無関係ではないことを知らされる思いがした。